



5月感染症情報

🍂 本園 🍂

🌸 分園 🌸

水痘（水ぼうそう）

なし

乳児クラス（本園・分園ともに）の方で発熱、鼻汁、咳のでお子さんが多数おりました。咳症状が悪化し、クループ症候群になってしまったお子さんも数名いました。鼻水が垂れ続ける場合や鼻汁が気道の方に流れ、咳き込む場合など、熱がなくても早めに病院受診をして治療をしましょう。また、病院受診をして内服をしても咳が続く、鼻水が多いなど内服後2・3日症状がよくなる場合は、再度病院受診をして医師と相談をしましょう。

梅雨シーズン、気候の変化等で体調を崩しやすいので、ご家族ともに十分体調管理に気を付けていきましょう。同居されているご家族で体調が悪くなったりした場合等、登園時に報告をしていただくと助かります。ご協力の程、よろしくお願い致します。

クループ症候群について

クループ症候群とは、咽喉周辺の空気の通り道が風邪のウイルス等によって炎症を起こし、狭くなってしまうことで、空気を十分に取り込めない状態のことをいいます。そのため、呼吸困難をおこすこともあります。

【症状】

鼻水や咳、発熱などの風邪症状から始まり、^{けんぱいようがいそう}犬吠様咳嗽とも呼ばれ犬やオットセイのように「ケンケン」と聞こえる特徴的な咳が出るようになります。時に急激に症状が悪化することもあるため注意が必要です。

- * のどの痛み
- * 声のかすれ
- * ケンケンという甲高い犬が吠えたような咳をする
- * 息を吸うとヒューヒューという音がする

【ケア】

上記のような症状が見られた場合は、早めに受診をしましょう。

部屋の湿度を保ち、水分補給をこまめに十分に取らしましょう。

夜間に咳がひどくなることがあるので、苦しそうなときは、夜中でも急いで病院受診をしましょう。



梅雨時の健康



梅雨の時期は温度・湿度とも高くなり、様々な影響が出てきます。健康に過ごせるように日頃から身の回りの体調管理を心がけましょう。

朝ご飯をしっかり食べ、水分を十分に取ります。

汗をかいたらタオルなどで拭き、濡れた服は着替えましょう。毎日入浴するなど肌を清潔に保ちましょう。

こまめに水分補給をし、熱中症対策にも気を付けていきましょう。

部屋の中もこまめに掃除や換気をし、このジメジメした嫌な季節を乗り越えていきましょう。



6月の保健行事

6月1日（7日：予備日）全園児歯科検診

6月9日（水）乳児健康診断（春季健診未受診児）

◎歯科、春季健診を今回受けられなかった場合、受診票をお渡し致しますので、ご家庭の方で受診をしていただきます。受診後、受診票を提出していただきます。健診日はお休みをされないようご協力お願い致します。



6月4日は「むし歯予防デー」です



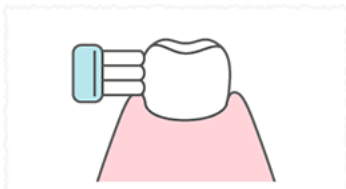
新型コロナウイルス感染症の影響により、保育園での歯みがき指導もなかなか実施することが難しく、お家での歯のケアを実施強化していただき、ご協力ありがとうございます。6月4日はむし歯予防デーです。歯みがきの仕上げ磨きのポイントをご紹介します。

★歯ブラシの持ち方★

歯ブラシは、軽い力で磨ける「ペングリップ」（鉛筆の持ち方）で持ちます。



★歯の基本の磨き方★



毛先を歯面（歯と歯茎の境目、歯と歯の間）にきちんと当てる



150g～200gの軽い力（毛先が広がらない程度）で磨く



小刻みに動かす（5～10mmを目安に1～2歯ずつ磨く）

優先的に仕上げ磨きをするところと磨き方

①上の前歯の磨き方：子どもの「上唇小帯」は厚みがあり、歯を磨くときに歯ブラシが当たってしまう場合があります。上唇小帯に歯ブラシが当たると痛みが生じるので、指を添えて丁寧に磨いてあげましょう。



②奥歯の外側・内側の磨き方：奥歯の外側や内側も「基本の磨き方」で磨きます。写真のように外側と内側に歯ブラシを当てましょう。



③前歯の裏側：前歯の裏側は歯ブラシを縦に当てて磨きます。